



▲園内のつつじをバックに

▲4月2日開園記念式典の後の花見会

あさひ

平成19年5月16日発行

第70号

[発行所]
香川県高松市前田東町585-5
社会福祉法人 朝日園
[発行人]
白井 義男
[印刷所]
身体障害者授産施設 朝日園
TEL:(087)898-2399
E-mail: asahien@f2.dion.ne.jp

新入所者紹介



竹内 修さん

長期の入院より復帰し、朝日園に帰ってくる事が出来ました。新たな気持ちで頑張りたいと思います。



元木 麻友美 (看護師)

経験不足な点もありますが、よろしくお願ひ致します。



谷本 千恵美 (調理員)

いつも笑顔で頑張ります。



藤山 光敏 (生活支援員)

利用者の皆さんの生活の質を大切にしたいと支援出来るように頑張ります。



中山 智佳 (すずらん)

精一杯がんばりますので、よろしくお願ひ致します。

祝!
20歳



吉岡直紀さん、橋本美菜さんが今年、成人の日を迎えました。おめでとうございます。

山田秀二・美紀子さん 結婚



1月21日(日)多勢の人に見守られ挙式を上げることが出来ました。これからは2人で幸せな家庭を築いていきたいと思ひます。

初夏のハーバープロムナード

初夏のサンポート高松は、海に伸びるハーバープロムナードを心地よい潮風に吹かれて、赤灯台までの散策が楽しめる快適なエリアです。瀬戸内海の淡青の空と海。のどかな海原を帆走するヨット、入り船、出船の往来、遠く近く浮ぶ島々。日没には海に映える夕日を眺める絶好のスポットともなります。

向でのソフトラディングの移行の実現を目指します。

また、懸案の朝日園の入所利用者の生活棟の老朽化と大部屋解消のための大規模改修・改築計画についても、新体系移行を見据え検討に着手してまいります。

社会福祉法人 朝日園
常務理事 菅谷隆志

昨夏4月施行の障害者自立支援法のもと、当法人は平成二十一年四月に向けて新たな施設・事業体系サービスへの移行を進めてまいります。施行三年後(平成二十一年度)の見直しによる流動的な要因を残してはおりますが、それまでには旧施設の過半が移行していくことが予想されます。その一方で、平成二十三年度に旧施設が新体系に移行を終える時期を待つ移行を果すところもあります。問題は準備体制の構築のいかんにかかっているとはいえず、現状、納得のいく移行は望むべくもありません。

移行に当たっては、就労関連事業(就労継続支援A型、B型、就労移行支援)を基軸に、施設入所支援対象事業には生活介護(日中は生産活動)を視野におき進めてまいります。

利用者の方々にとって真に望ましい方

昨年未、厳しさの増す障害者福祉への危機感が高まるなか、当法人では職員全員路線で、考え、知恵を出し合い、乗り切るため、意識改革を進めるべく、「自立と連帯」を基本理念に、AIP推進委員会(Asahi Independence Plan)を発足させ、QC運動を展開中です。

全職員はテーマ別に七つのグループを形成。

- ①建物内禁煙を目指す
- ②事務所の一本化
- ③授産科目、環境の見直し
- ④生活支援
- ⑤給食
- ⑥5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)
- ⑦法人全体を視野においた新事業体系移行

現在、朝日園の近未来像を展望しつつ熱心な論議を重ねられており、既にいくつかの成果を結んでおります。今後の活発、着実な展開に期待したい。

平井小学校見学

平井小学校5年生の方々が昨年度も朝日園の職場見学・体験に来られ、利用者と一緒に触れ合う機会がありました。代表として5年生 岩崎祐典さん、香川泰士さんより利用者へのお礼の手作り品(ティッシュカバー・車椅子座布団カバー)を頂きました。ありがとうございました。



ご厚志ありがとうございました

平成18年度 NHK歳末たすけあい義援金を受配 (香川県共同募金会)

平成18年度(第56回)NHK歳末たすけあい義援金の受配により、衣類乾燥機2台を購入、生活棟に配置いたしました。男女とも効率よく洗濯、乾燥ができるようになり、大変便利になりました。雨天を気にせず洗濯ができています。ありがとうございました。



朝日エイト

お花見

4月2日(月)朝日園中庭にて、朝日園と合同でお花見をおこないました。
今年はお花も満開、天候にも恵まれ、焼そばや、うどんなどのおいしいお料理・カラオケを楽しみました。



朝日平成園

入園式&花見会

4月2日(月)、朝日平成園とすずらんの合同入園式を行いました。朝日平成園には小西真由さん、すずらんには石川加奈さん、太田朱美さん、長永康男さんの計4名が入園されました。
入園式のあと花見会をサンピアさぬきでの食事会を兼ねて実施しました。お花見弁当を桜の咲いた外の景色を眺めながら美味しく頂いた後、サンピアさぬきの周辺を散策するなどして、いつもと違ったのんびりした春の1日を過ごしました。
みんなの輝く笑顔がとてもすてきでした。



すずらん

4月より新しい利用者さんを迎え、総勢12名となりとてもにぎやかで充実した毎日を送っています。
先般(2月末日)、日本財団より車いす4台乗車可能な車輛が寄贈されました。現在毎日の送迎をはじめ行事等に活躍しており、利用者の方々の自立と社会参加を支援し、推進できることを大変うれしく思います。助成にご協力いただいた関係者の皆様、どうもありがとうございました。



人事異動

- 藤井 剛 平成園→朝日園
- 高橋 寿美代 朝日園→平成園
- 大川 圭二 朝日園→平成園

(福)朝日園苦情解決第三者委員委嘱

- 森山 重良(民生委員)
〒761-0701 木田郡三木町池戸2040 電話898-0288
- 川田 浩(民生委員)
〒761-0322 高松市前田東町364-7 電話847-5327

地域活動支援センター あさひ

水族館のスケールの大きさに大満足!

3月8日、晴天の中、利用者18名、介護者6名、職員2名、総勢26名で“あさひ”を出発、大阪「海遊館」に行きました。
今回は、観光バス(リフト付)を今治市から手配し、運転は安心できる運転手に任せ、車中では楽しいバスガイドの話の聞いて、あっという間に大阪へと到着。昼食はホテルでフランス料理。テーブルマナー教室が役立ちました。その後、海遊館にて見学。水槽に手をあてるとイルカが寄ってきて口を開けるシーンに感動しました。買物をする時間は少なかったのですが、楽しい一日でした。



私が、このたび、社会福祉援助現場実習を、「社会福祉法人朝日園」

で行うに当たり、感じたことは、大学で学んだことは、異なることとがあり、支援の仕方もあるいろいろな方法があるということを知りました。大学では、こんなケースの場合、こうしたほうがいいという基本的なものであり、現場では、その通りに、いつも処理される訳ではありませんでした。
そして、常に、現場で求められる支援の仕方には、その時の利用者の気持ちや心理を察することの出来る人でないと、勤まらないという事も感じました。
また、新しく施行された「障害者自立支援法」による利用者の生活や辛さもあるという事を教えてもらい、また、話を聞かせてもらうことが出来ました。デイサービスについても施行される前までは、提供することが出来ていたサービスも、施行されてからは、利用者の生活が制限されて、職員さんにとっては、支援のやり辛さがあるということも教えてもらいました。
そして、なぜ、「社会福祉法人朝日園」が出来たのか。法人の目的は、どのようなところにあるのかということも教えて頂きました。
施設長さん、職員のみなさん、何も知らない私を暖かく指導、また、体験させていただきありがとうございました。

朝日園

第6回 全国障害者スポーツ大会 「のじぎく兵庫大会」に出場!!

矢田 利典さん 砲丸投げ 銅メダル
ソフトボール投げ 金メダル

昨年の10月14日~16日に行われた全国障害者スポーツ大会に選手枠の少ない中から、香川県選手団代表として、矢田利典さんが選ばれ参加、金・銅の2個のメダルを獲得しました。

【矢田利典さんのコメント】

第6回全国障害者スポーツ大会に砲丸投げとソフトボール投げで出場しました。大会までの練習も頑張り、2個のメダルを獲得事ができました。良い経験ができたと思います。



施設だよリ

アビリンピックかがわに出場!

3月4日に香川県障害者技能競技大会(アビリンピックかがわ)が行われ、朝日園より新田由美さん、平田孝美さん(フラワーアレンジメント部門)、朝日エイトより宮脇孝芳さん(DTP部門)、片岡良平さん、清水芳晃さん(データベース部門)、松原幸利さん(フラワーアレンジメント部門)が参加されました。

新田由美さんが努力賞 宮脇孝芳さん、清水芳晃さんが銀賞を頂きました。皆さん、毎日の練習の中での成果を十分発揮されていました。

【新田由美さんコメント】

初めは不安だらけの中で参加しました。クラブ活動の生花クラブでフラワーアレンジメントをしていたこともあり、以前からの趣味の一つでした。想像していたよりも奥が深く、練習していく中で難しい事にもぶつかるとたくさんありましたが、楽しんで取り組む事ができました。本番では緊張しましたが、自分なりに頑張り力を発揮できたと思います。努力賞も頂き、友人から「おめでとう」とメールをたくさんもらい励みとなりました。良い経験になりました。また機会があれば参加したいと思っています。



平成19年度 朝日園開園31周年周年式典

4月1日、朝日園開園31周年記念式典が行われました。昨年度、さまざまな場面で活躍した皆さんに記念品の贈呈がありました。

★努力賞

植田友子・川畑季万・篠原ゆかり
平田孝美・白井秀克・宮脇孝芳

★スポーツ賞

矢田利典



実習を終えて

四国学院大学 小島 章義



今回の実習では前期、後期を通して学ぶものがたくさんありました。作業が中心でな

かなか利用者の方とのコミュニケーションのとり方や関わり方が分からなくて戸惑いましたが、話をしているうちに利用者の方自身のことも話してくれるようになりました。話をすることで精神的なケアにつながる利用者の方もいらっしゃるだったので、そうやって私と話をすることで利用者の方々が笑顔になってくれるのがうれしく、また、自身の成長にもつながる体験だったと思います。福祉は人との関わりであるという事を再認識しました。
勉強不足のために職員の方々にはご迷惑をおかけしましたが、県スポに参加させて頂いたり、法人全体の施設で実習させて頂いたり、本当になかなか得がたい体験をさせて頂きました。
最後になりましたが、大変お忙しい中、色々と丁寧にご指導して頂いた職員の皆様、実習中お世話になった利用者の方々の皆様、本当にありがとうございました。